

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和6年度病虫害発生予察注意報第4号について

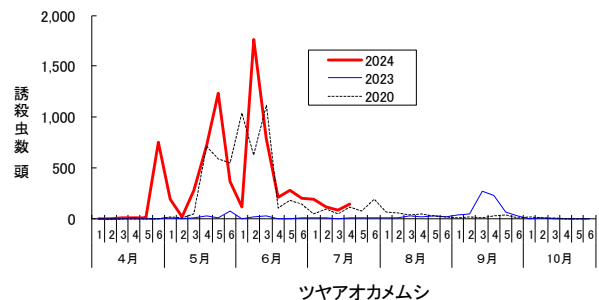
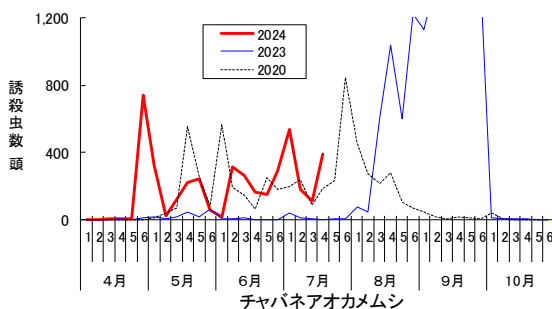
このことについて、病虫害発生予察注意報第4号（果樹カメムシ類）を発表したので送付します。

注意報第4号

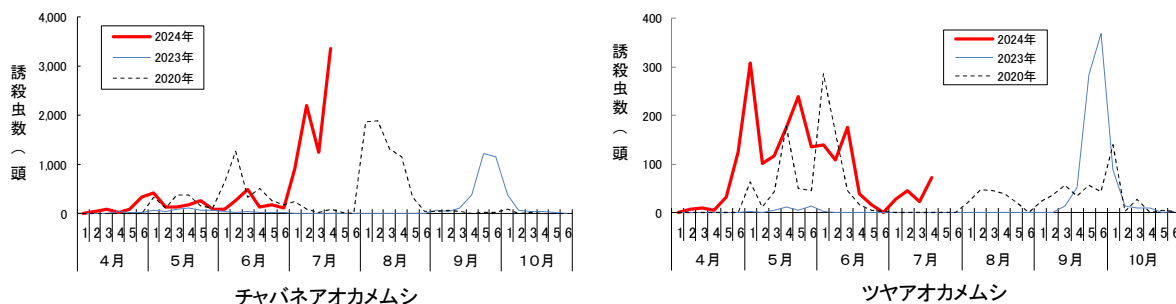
- 1 対象作物名：果樹全般
- 2 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ他）
- 3 発生予想：例年より早い時期からの発生がみられ、発生量は多く、7月下旬以降に被害が急増するおそれがある。

4 予報の根拠

- (1) 本年（令和6年）は、予察灯におけるチャバネアオカメムシ誘殺頭数が前期発生型であった令和2年（2020年）に類似しているが、既にこの時の累積頭数を超えている（令和2年 3,113 頭 本年 4,141 頭 筑紫野市4月1日～7月21日）。
- (2) フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺頭数は、6月末までは令和2年（2020年）より少なめに推移したが、7月以降は急激に誘殺数が上昇した（令和2年 5,187 頭、本年 10,845 頭 筑紫野市4月1日～7月22日）。前期発生型でも7月から誘殺が急増した例はなく、果樹等への加害が懸念される。
- (3) ツヤアオカメムシについては、予察灯における累積誘殺頭数が既に令和2年（2020年）の頭数を超えている。（令和2年 5,419 頭、本年 7,446 頭 筑紫野市4月1日～7月21日）またフェロモントラップにおける誘殺も同様である（令和2年 921 頭、本年 1,910 頭 筑紫野市4月1日～7月22日）。



予察灯における果樹カメムシの誘殺数（筑紫野市吉木）



フェロモントラップによる果樹カメムシの誘殺数(筑紫野市吉木)

(4) 福岡管区気象台7月18日付け発表の1か月予報では、向こう1か月（7月20日～8月19日）の気温は、かなり高くなると予想されている。

5 防除上注意すべき事項

(1) 果樹カメムシ類は夜温が高くなると活動が活発になるので、気温の推移と予察灯やフェロモントラップでの誘殺数が増加する時期と量に留意し、果樹園への飛来状況の把握に努める。

発生時期や発生量は地域や園によって大きく異なるため、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。

(2) 例年より早く被害が発生する恐れがあるため、飛来状況を確認し、防除や袋掛け作業を徹底する。また、果樹カメムシ類は広範囲に移動することから、薬剤散布は広域で一斉防除を実施する。

(3) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページ

(<https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①

○X (旧 Twitter) で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

X (旧 Twitter) の本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②



福岡県病害虫防除所
最新の病害虫発生状況

